

イレッサ®を服用する方へ

用法と服用上の注意点

- 1日1回 **食後に**服用してください。
食後に服用することで、胃の不快感を軽減できる場合があります。
- 毎日同じ時間に服用することで飲み忘れを防ぎましょう。
- グレープフルーツジュース、セイヨウオトギリソウ(セント・ジョーンズ・ワート)を含む食品は摂取しないでください。
- ワルファリン、制酸薬などのお薬を服用している方は、効果に影響が出る場合があるので必ず医師、薬剤師、看護師に申し出てください。
- 下痢があるときは、水分摂取をこまめに行いましょう。また、牛乳や乳酸菌製剤(ヨーグルトなど)、刺激物、アルコールの摂取を控えてください。

主な副作用と発現時期

次のような症状があらわれたら、医療スタッフにお知らせください。
※ 個人差があるので、その他の副作用についても十分注意して下さい。

服用当日～4週間	●下痢	●口内炎	●皮疹	●間質性肺炎
4週間～数か月	●皮膚乾燥	●爪周囲炎(爪囲炎)		

◇間質性肺炎

息切れ、空咳、発熱などの症状が現れた場合には、すぐに受診してください。

◇下痢

便の回数が増えたり下痢が起こりやすくなります。スポーツ飲料などで水分補給し、おなかを温かくして安静にしてください。

1日に4回以上の下痢回数の増加が48時間以上続く場合は受診してください。さらに、1日7回以上の下痢の増加がある場合はすぐに受診してください。

◇口内炎

口の中に発赤や潰瘍ができることがあります。痛みを伴う場合は早めに報告して下さい。アルコールを含むマウスウォッシュは使わないでください。

◇皮疹・皮膚乾燥

頭皮、手足などに赤いぶつぶつが現れたり、皮膚が乾燥することがあります。低刺激の保湿剤をこまめに塗ることで予防しましょう。(毎日1日2回以上)発疹が現れた時は必ずスタッフに連絡してください。

◇爪周囲炎(爪囲炎)

爪の周りが腫れたり、爪が変形・変色したりします。爪の周りに保湿剤を塗ることで予防しましょう。爪囲炎が現れた時は、処置が必要な場合もありますので早めに報告してください。

◇肝機能障害

ASTやALTが上昇することがあります。疲れを感じる、尿の色が濃くなる、皮膚や白目が黄色くなるなどの症状が現れた場合は、すぐに連絡してください。

◇眼の異常

まれですが、眼の痛み、腫れ、発赤、かすみ目などの症状が現れる場合があります。